

SHOCHIKU
OTANI
LIBRARY65th

No. 309 (2023年12月)

令和5年12月8日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

■クラウドファンディング支援者様対象 松竹大谷図書館見学会ご報告

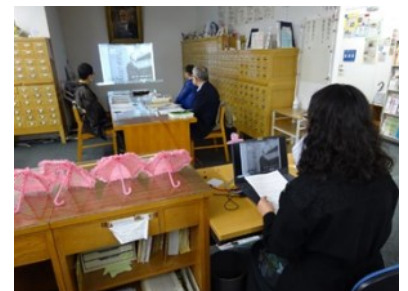
事務局 武藤祥子

本年9月5日～10月25日に行ったクラウドファンディング「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」に5万円のご支援をいただいた方をお招きして、11月30日にお礼の見学会を開催致しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、見学会では目玉の企画であった閉架式書庫の見学を第9弾から中止しておりましたが、今回は久しぶりに書庫内のご案内も再開いたしました。見学会は午前10時～12時、14時～16時の2回行い、合計4名の方にご参加いただきました。なお、見学会当日にご参加いただけなかった5万円の支援者の方には、当館の所蔵資料や記録映像について1時間程度ご説明する図書館員によるガイダンス(予約制)への参加券を、お礼の文庫本カバーなどと共にお送り致します。

見学会の構成は、今回午前が初めて参加の方、そして午後は常連の方々であったため、書庫内のご案内はそれぞれの回で異なる内容となりましたが、その他は基本的に同じ内容で、まず閲覧室にて当館の概要についてのスライド上映を行い、続いて【第10弾】のクラウドファンディングにより、所蔵フィルムに映っている内容を確認するため低解像度でスキニングしてデジタルデータに変換した映像のうち「栄光の道を行く大谷竹次郎」と題された一本を上映しました。

これは、松竹株式会社の創業者の一人であり当館の創設者である大谷竹次郎が映っているニュース映画を、一本の映画に編集したもので、大正11年から昭和8年頃にかけて撮影された珍しい映像が含まれています。それぞれ字幕により何の映像かは判明しているのですが、細かい撮影時期や映っている人物が特定できていない部分もあり、その不明な部分も含め、これまでの調査で判明した内容についてご説明をしながら映像を鑑賞していただきました。

その後は閲覧室内の展示についてご案内致し、まず現在開催中の閲覧室所蔵資料ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」をご覧いただきました。数多くの小津映画に関わった大船撮影所の美術助手・荻原重夫旧蔵の美術関係資料や、昭和年代に映画館のロビーに掲示されていた大型のステール写真のような宣伝資料であるロビーカードなど当館ならではの資料を中心にご覧いただきました。続いて、今回の見学会のために閲覧室の机の上に展示した、これまでの【第2弾】から【第9弾】のクラウドファンディングでデジタル化や保存を行った資料の原物をご覧いた



【午後の部】「栄光の道を行く大谷竹次郎」上映中



【午後の部】小津安二郎作品のロビーカードをご紹介します



【午前の部】デジタル化を行った資料についてご説明

目次:

クラウドファンディング支援者様対象 松竹大谷図書館見学会ご報告	1-2
「中央区まるごとミュージアム2023」11月4日(土)特別開館のご報告	3
「歌舞伎座レトログッズ」新商品のレターセットが発売になりました	3
所蔵資料紹介 - [12]「超歌舞伎」台本-	3
第100回所蔵資料ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」関連資料ご紹介:『東京暮色』美術資料	4
資料提供	4
新着資料案内	5
新規登録資料案内	5
来年のカレンダーのお知らせ	5
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
年末年始休館のお知らせ	6
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	6
利用案内	6

できました。今回の【第12弾】に関しては、現在『松竹座ニュース』をはじめとしたデジタル化を行う大阪松竹座の関連資料が全て補修作業に出ているため、代りにプロジェクトページや活動報告の執筆でスタッフが参考にした、大阪松竹座の劇場史やOSKの劇団史、また弁士や映画館プログラムに関する図書の展示を行いました。そのほか、カウンター周りには、朝ドラ『ブギウギ』に出演したOSKのスターのサイン入り

桜ミニパラソルと、OSK公演のポスターを置いて、展示に花を添えました。この桜ミニパラソルは、昨年閲覧室ミニ展示「OSK日本歌劇団創立100周年」を行った際に、OSK日本歌劇団様のご厚意により、当時の全劇団員52人のサイン入りのミニパラソルを御恵贈いただいたものです。



OSKのスターのサイン入り桜ミニパラソル

そしていよいよ再開した閉架書庫内のご案内です。午前中の支援者の方は今回初めて見学会に参加されたので、当館の資料の特徴

が分かるように演劇では劇場プログラムや台本、舞台写真、主な演劇雑誌について、そして映画ではパンフレットやスクラップブック、松竹映画や各社の日本映画の台本、また、昔読んでいらしたという戦前や昭和20～30年頃に発行されていた大型のグラビア雑誌などをご覧いただきました。

また、午後の見学会に参加された3名の方は、皆さま過去に参加された経験がある方であったため、これまでデジタル化を行った資料に関連して、歌舞伎プロマイドの考証に役立つ資料のご紹介、そしてGHQ検閲台本などについて書庫内でのように保存されているのかなどをご覧いただきました。

まず歌舞伎プロマイドの考証において重要な参考資料として、歌舞伎座の再版の筋書と演劇雑誌のグラビアをご紹介します。歌舞伎の本興行では、月の半ばにその興行の舞台写真が掲載された再版と呼ばれる筋書が売られ、一次資料として大変重要な資料となります。しかし戦前の筋書には舞台写真が掲載されていない

ため、明治期に刊行が始まった『演芸画報』そして昭和18年からつい最近まで続いていた『演劇界』といった演劇雑誌に掲載されていたグラビア写真が舞台写真を特定するうえで



【午後の部】『演芸画報』のグラビア

非常に重要な参考資料となります。明治30年代に刊行されていた『(第一次)歌舞伎』には、素人写真家としても活躍した劇作家で批評家の川尻清潭が撮影した演劇写真が頻りに掲載されています。

グラビアページは1～2ページと多くはありませんが、この時代、グラビアが掲載されている雑誌自体が少ないため、おおいに参考になります。

また、国立劇場大劇場の公演プログラムには、上演演目の古い写真が掲載されていたため、こちらも重要な参考資料となります。現在では、国立劇場の収蔵写真はデジタル化され、独立行政法人日本芸術文化振興会が運営する文化デジタルライブラリーでご覧になれるほか、立命館大学アート・リサーチセンターの「舞台写真ポータルデータベース (ARC催事型写真ポータルデータベース)」において、当館の歌舞伎プロマイドのデジタル画像と共に閲覧する事が出来るようになりました。

そして歌舞伎俳優の写真集も非常に参考になる資料です。その俳優の写真が集められ、演目や役名、上演年月日や劇場などのキャプションが付いているため、同じ写真や似たような構図や扮装の写真が掲載されていれば、写真を鑑定する手掛かりになります。これらの参考図書を駆使し、この10月に演劇写真検索閲覧システムで5,500点の画像を公開するために、スタッフで手分けしてデータを入力した裏話も聞いていただきました。

また、書庫内では当館のこれからの課題として、演劇写真を収蔵したキャビネットの上の棚に積まれた未整理写真の段ボールや、デジタル化や補修が進まないまま他の台本と同じ書架に配架されている新派のGHQ検閲台本を

ご覧いただいたり、劇作家で演出家の北條秀司が、自作が上演されるたびに作成した関連資料のスクラップについてご覧いただいたりしました。当館ならではの貴重資料をご覧いただきながら、劣化を食い止めるための手段を講じなければならない状態であることなど、その課題についても合わせてご説明し、見学会を終了致しました。

今回で10回目となった見学会は、テーマを明確にして書庫内のご案内することで、以前にご参加下さった支援者の方も、違う視点から見学していただく事ができ、ご満足いただけたようです。スタッフ自身も所蔵資料の課題をあらためて見直すきっかけとなりました。



【午前の部】整理済の演劇写真



【午前の部】デジタル化済の戦前歌舞伎座筋書



【午後の部】キャビネット上の未整理資料段ボールを見上げて

■「中央区まるごとミュージアム2023」11月4日(土)特別開館のご報告

2008年に始まった中央区まるごとミュージアムは、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺の風景など中央区の豊かな文化的魅力を体験していただく秋恒例のイベントで、今年で16回目を迎えます。今回の「中央区まるごとミュージアム2023」は11月5日(日)に開催されました。当館は前日のイベントとして初参加し、通常休館日である11月4日(土)に特別開館して、参加者の方に資料閲覧と所蔵資料ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」の観覧をしていただきました。

事前募集イベントとして資料閲覧の事前予約を開始したところ、「平日になかなか来館できないのでこの機会にぜひ利用したい」と早々と予約のお電話を下さった方や、「土日しか行けないんです…」とおっしゃるので特別開館日のご案内をしたら喜んでご予約下さった方もおられました。また当日は、「前からどんなところか気になっていたので立ち寄りました」という方、他館を巡る途中で展示観覧に来られた方などもいらっしゃいました。さらに、「イベント当日には行けなけれど小津安

二郎のミニ展示をぜひ見たいのでいつまでやってますか」、というお問い合わせもあり、まるごとミュージアムのパンフレットとサイトに掲載していただいたおかげで、当館の活動情報をより広くの方に知っていただけるよい機会となりました。当館も久々の土曜開館ということで、事前準備や広報など改めて日頃の業務を見直す機会となり、スタッフにとっても良い経験となりました。今後もこのような催しがあれば積極的に参加して、松竹大谷図書館に気軽にお立ち寄りいただける機会を増やしていきたいと思えます。



■「歌舞伎座レトログッズ」新商品のレターセットが発売になりました

今月12月3日、歌舞伎座新開場10周年記念グッズ「歌舞伎座レトログッズ」に新商品が発売になりました。戦前の歌舞伎座筋書表紙をデザインに使用したレターセットです。

「歌舞伎座レトログッズ」は、当館が令和2(2020)年に行った【第9弾】クラウドファンディングで皆さまのご支援により公開した当館デジタルアーカイブを活用して作成されたグッズで、おかげさまをもちまして歌舞伎座ご観劇のお土産などに、大変人気の商品となっております。

新商品のレターセットは便箋6枚、封筒3枚入りの定型郵便用で、「花筏・航海・貝合わせ」の3種類各770円(税込)です。歌舞伎座1階お土産処「木挽町」のほか、歌舞伎座地下2階木挽町広場「お土産処かおみせ」、歌舞伎座オンラインストアでも販売しております。ぜひお手にとってご覧ください。



■所蔵資料紹介 —[12]「超歌舞伎」台本—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、今月の「歌舞伎座新開場十周年 十二月大歌舞伎」の第1部で、歌舞伎座で初上演となった超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』の台本です。

古典歌舞伎とNTTの技術をはじめとしたテクノロジーが融合した超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』は、2016年4月に幕張メッセで開催された動画投稿サイト「ニコニコ動画」の「ニコニコ超会議2016」で、中村獅童主演で初めて上演されました。初音ミクとの競演、リアルタイムでの動画配信は反響を呼び、2019年4月に同会場にて脚本・演出を一新した形で再演。そして同年8月には南座で「南座新開場記念 八月南座超歌舞伎」として公演が実現し、「超歌舞伎のみかた」と題した解説も行われ、澤村国矢主演のリミテッドバージョンも上演されました。また、コロナ禍に見舞われた2020年8月には東京建物 Brillia HALLにて無観客の配信公演『夏祭版 今昔饗宴千本桜』が行われ、ファンをリモートで楽しませました。どの台本も閲覧室でお読みになれますので、ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※前日までの予約制)。当館HPの「資料検索」で検索可能です。また、フリーワードに「超歌舞伎」と入力すると『今昔饗宴千本桜』以外の超歌舞伎作品の資料も検索できます。<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



写真上左より
幕張メッセ公演台本『今昔饗宴千本桜』2016年4月、2019年4月、配信公演台本『夏祭版 今昔饗宴千本桜』2020年8月
下左より:2019年8月南座公演台本『超歌舞伎のみかた』、
『今昔饗宴千本桜』台本、リミテッドバージョン台本

■第100回所蔵資料ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」関連資料 ご紹介：『東京暮色』美術資料

現在当館閲覧室にて開催中の第100回所蔵資料ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」より、関連資料として荻原重夫旧蔵『東京暮色』の美術資料をご紹介します。

小津安二郎の映画の美術監督は浜田辰雄がつとめていましたが、荻原重夫はその助手として付いていたベテランの美術スタッフです。

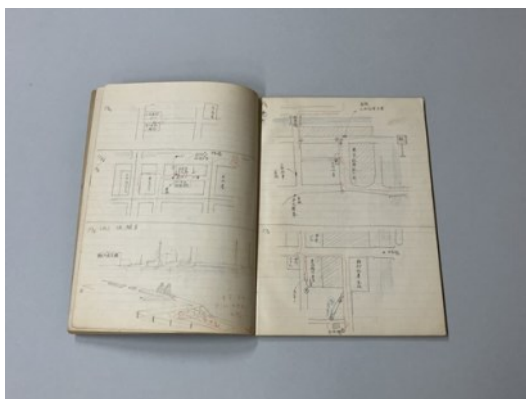


左：『東京暮色』スクラップブック(No.1)、右：ロケハンノート

今回ご紹介するのは、『東京暮色』のロケハンノートと美術スクラップブックです。ノートと美術スクラップブックの表紙には、「小津ぐみ 東京暮色」

と書かれた手作りの同じデザインのタイトルがあります。

ロケハンノートには、各ページに日付、ロケハンの地名と共に手描きの地図などが記載されています。書かれている地名は、高輪、大井町、新橋、池袋、雑司ヶ谷、そして浜離宮などです。浜離宮では、有馬稲子演じる杉山明子と田浦正巳演じるその恋人木村憲二が岸壁に座って会話をしているシーンが撮影されました。ノートには「1/9日(水)浜離宮」とあり、岸壁に座る二人のシルエットと海向こうの遠景が描かれています。この日付には年が書かれていませんが、『東京暮色』は1957年4月30日の公開で、この年の1月9日は水曜日にあたるので1957年と推測できます。



左下に浜離宮のシーンについての記載がある
東京暮色ロケハンノート

そして『東京暮色』の4冊あるうちNo.1と記載されたスクラップブックには、このロケハン時に撮影されたスチル写真が多く貼られており、浜離宮の写真もあります。それぞれの資料に記載された日付が同一であることから、同じ日のものだということが分かります。



『東京暮色』スクラップブック(No.1)の浜離宮のロケハンの写真が貼られたページ。左下の写真が映画のシーンが撮影された岸壁か。スタッフらしき人物が2人座っている

左写真のスクラップブックの中央上部分。左に「浜離宮入口」、右上に小さく「1/9日」と記載がある

また、別のスクラップブック(No.3)には、この浜離宮のシーンの撮影風景のスチル写真もあり、岸壁で撮影中の有馬稲子とスタッフの姿が写ったものなど計3枚が貼られています。このように、ロケハンノートとスクラップブックを順に見ていくと、製作初期のロケハンから撮影中、そして完成までの過程をたどっているかのようです。当時の製作状況を知ることができる貴重なノンフィルム資料です。

今回の展示では、『東京暮色』のロケハンのノートの浜離宮のページと浜離宮のシーンのスチル写真を並べて展示しています。また、他には小津安二郎の遺作『秋刀魚の味』の、笠智衆演じる平山周平と岩下志麻演じる娘の路子が暮らす平山家二階の撮影セットの平面図を、こちらも映画のシーンのスチル写真と並べて展示しています。通常非公開の美術資料ですので、ぜひこの機会にご覧ください。

閲覧室ミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」
展示期間：2023年10/27(金)～12/26(火)/時間：平日10時～17時/休館日：土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室

※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。
松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694(平日：10時より17時)
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

資料提供 (2023年10～11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『泉鏡花生誕一五〇年記念 鏡花の家』2023年10月12日平凡社 喜多村緑郎肖像写真及び図書『断』より田島金次郎肖像写真を提供／『音貞オッペケ祭2023 無声ハリウッド映画「THE DRAGON PAINTER 蛟龍を描く人」声色かけあい活弁公演・連鎖劇公演パンフレット』2023年10月15日・11月26日 『川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム』を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第109号』2023年10月18日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「巖屋の出版物『芝翫栗毛』」を提供／『芸術新潮 11月号』2023年10月25日新潮社 コラム「銀幕の京都」に映画『祇園の姉妹』スチール写真を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第111号』2023年11月15日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「朱鐘鬼」掛軸を提供

【その他】日本比較学会第61回東京支部大会「怒り鎮め、私達と共に歌ひませう」長門美保歌劇団による『ミカド』日本人初演(1948年)が目指したもの」大西由紀 2023年10月28日日本女子大学 『ミカド』台本を提供

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系11月演劇公演資料◆		○…受入済み			
劇場	演目	台本	スチ	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『マハーバーラタ戦記』	○	○		
	『秀山十種の内 松浦の太鼓』	○	○	○	○
	『鎌倉三代記』	○	○		
	『顔見世季花姿繪』		○		
新橋演舞場	『シェルブールの雨傘』			○	○
南座	OSK日本歌劇団『レビュー in Kyoto』	○		○	○
松竹座	『キャメロット』	○		○	○
	『松竹特選落語会』				
	『鼓童ワン・アース・ツアー2023 翔走』				
平成中村座(小倉城)	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○			
	『風流小倉俄廓彩』	○		○	○
	『小笠原騒動』	○			

クリエイティブプログラム/キャラメルボックス・ディスカバーリーズ『サンタクロースが歌ってくれた』新宿スターフィールドプログラム/『長唄協会秋季定期演奏会 初代国立劇場最終公演 そして未来へ』国立劇場小劇場プログラム/正派邦楽会『二代目正派家元中島靖子三回忌追善 正派創始百十周年記念演奏会』NHKホールプログラム/『第207回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第22回琉球芸能公演』国立劇場小劇場プログラム/『第92回雅楽公演』国立劇場大劇場プログラム

◆映画資料◆『シチリア・サマー』プレス、ポスター、プログラム/『アイドルマスター シャイニーカラーズ 第2章』プログラム/『MY (K)NIGHT マイ・ナイト』ポスター、台本、プログラム

◆映画プログラム◆(順不同)『TOKYO, I LOVE YOU』『スラムドッグス』『JFK/新証言 知られざる陰謀【劇場版】』『駒田蒸留所へようこそ』『ゴジラ-1.0』『私がやりました』『人生に詰んだ元アイドルは、赤の他人のおっさんと住む選択をした』『こいびとのみつげかた』『マーベルズ』『ミズ・マーベル』『シークレット・インベージョン』『首』『ロスト・フライト』『第36回東京国際映画祭公式プログラム』『パッド・デイ・ドライブ』

◆演劇雑誌◆(順不同)『AAC』Vol. 118/『Confetti』2023年12月/『the座』119号/『あぜくら』2023年11月号/『えんぶ』2023年12月号/『ほうおう』2024年1月号/『ステージびあ』2023年9+10月号/『テアトロ』2023年12月号/『ミュージカル』2023年11-12月号/『喝采』2024年2月、3月/『劇評』第20号/『大向う』令和5年11月号/『日本照明家協会誌』2023年11月号/『日本舞踊』75巻12月号

◆映画雑誌◆(順不同)『NFAJプログラム』No. 50/『SCREEN』2024年1月号/『TVガイド』2023年11/3号, 11/10号, 11/17号, 11/24号, 12/1号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年1月号/『キネマ旬報』2023年12月号/『シナリオ』2024年1月号/『シナリオ教室』2023年12月号/『ドラマ』2023年12月号/『ロケーションジャパン』2023年12月号/『映画芸術』485号/『映画撮影』No. 237/『映画時報』2023年10月号/『映画論叢』64号/『松竹【社報】』238号/『日経エンタテインメント!』2023年12月号/『文化通信ジャーナル』2023年12月号

◆他社演劇公演資料(2023年8月-10月)◆(順不同) こまばアゴラ劇場国際演劇交流プロジェクト2023『KOTATSU』シアタートラムプログラム/劇団団組『本郷菊坂富士ホテル』下北沢シアター711プログラム/道産子男闘呼倶楽部『きのう下田のハーバーライトで』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/横浜ポर्टシアターレビュー上演『新版 小栗判官・照手姫』船劇場プログラム/文学座『逃げる!芥川』紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYAプログラム/阿佐ヶ谷スパイダース『ジャイアンツ』シアタートップスプログラム/下鴨車窓『旅行者』座・高円寺1プログラム/宇ック『剝愛』シアタートラムプログラム/円盤に乗る派『幸福な島の夜』こまばアゴラ劇場プログラム/日本劇作家協会プログラム 座・高円寺秋の劇場17『未踏』座・高円寺1プログラム/文学座有志による自主企画公演『宮城野/ひまわり』文学座アトリエプログラム/劇団☆新感線のうえ歌舞伎『天號星』THEATER MILANO-Zaプログラム/ミュージカル『のだめカンタービレ』シアタークリエイティブプログラム/『ピロクシー・ブルース』シアター

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『舞踊年鑑 2022』『今日も舞台を創る プロデューサーという仕事』『演劇年鑑 2023』『THEATRE YEAR - BOOK 2023』『国際演劇交流セミナー2022』『22日本の人形劇(日本人形劇年鑑2022年版)』『にっぽん文楽 2015-2019』『<戯曲集>紛争地域から生まれた演劇14』『令和三年度第八回脚本募集脚本集』『優秀新人戯曲集2023』『ENGEKI : Japa-

nese Theatre in the New Millennium 8』『OMS戯曲賞vol.29』『わたしの歌舞伎 刀 雑記』『歌舞伎評判記集成第三期第六巻』『入選作品集令和二・三年度』『映画産業史の転換点 経営・継承・メディア戦略』『映画年鑑 2023』『JAPANESE FILM 2023』『映画館名簿 2023年版』『小津安二郎松阪日記 大正七年・十年』『脚本家黒澤明』

来年のカレンダーのお知らせ

2024年のカレンダーが完成いたしました。2024年は、図書館管理システムの入替えのため、例年2週間の8月の夏期整理休館を4週間とさせていただきます。

利用者の方々にはご迷惑をおかけいたしますが何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。随時お電話でのご確認や、当館のHP、SNSの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

当館HP

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

松竹大谷図書館カレンダー2024

* 印の日は休館日です

1月							2月							3月							4月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	1	2	3	4	5	6				1	2	3					1	2			1	2	3	4	5	6				
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13			
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20			
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27			
28	29	30	31	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30												
														31																
5月							6月							7月							8月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
				1	2	3	4						1			1	2	3	4	5	6						1	2	3	
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10			
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17				
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24			
26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31							
							30																							
9月							10月							11月							12月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
1	2	3	4	5	6	7					1	2	3	4	5						1	2	3	4	5	6	7			
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14			
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21			
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28			
29	30	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	29	30	31							

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年11月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人(敬称略)

向田徹雄

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

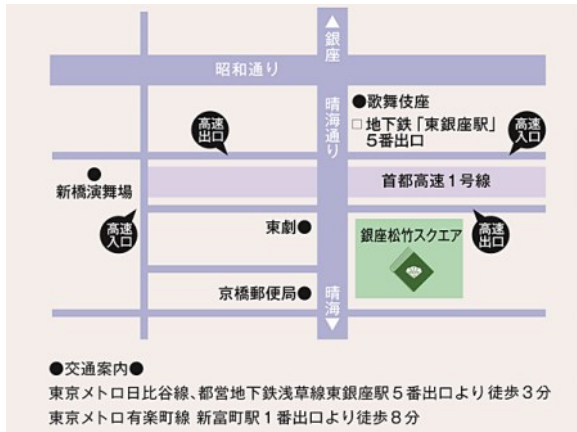
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和5年12月27日(水)
〜
令和6年1月10日(水)
年末年始休館のお知らせ



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>